



2013年12月24日

各 位

会 社 名 王子ホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 進藤 清貴
(コード番号 3861 東証)
問 合 せ 先 常務グループ経営委員
コーポレートガバナンス本部
副本部長 武田 芳明
(TEL. 03-3563-1111)

事業構造転換の推進に関するお知らせ

当社グループは、急激に変化する経営環境に機敏に対応しつつ、持続的な成長を達成するため、事業構造転換の推進を経営戦略の中心に掲げ、グループ経営力の強化を進めております。

今般、その一環として生活産業資材事業および機能材事業の競争力強化に関する施策を決定いたしましたので、お知らせいたします。

今後も常に先行して事業構造の転換を進め、企業価値の向上、最大化を図ってまいります。

記

1. 王子マテリア富士工場 抄紙機再稼動・停止

王子マテリア富士工場の効率的な生産体制構築と環境負荷低減を目的に、富士第一工場のN-1号抄紙機（2011年停止）を改造・再稼動して中芯原紙を生産し、富士第二工場の10号抄紙機を停止いたします。

再稼動する生産設備

	王子マテリア 富士第一工場 N-1号抄紙機
転換後の主要生産品種	中芯原紙
生産能力（中芯）	167千トン/年
再稼動時期（予定）	2014年7月

停止する生産設備

	王子マテリア 富士第二工場 10号抄紙機
主要生産品種	中芯原紙
生産能力	173千トン/年
停止時期（予定）	2014年7月

2. 王子エフテックス東海工場富士宮製造所 抄紙機停止

需要に見合った適正な生産体制を構築するため、白板紙・その他板紙を製造する王子エフテックス東海工場富士宮製造所の抄紙機2台を停止し、白板紙製品の生産・販売を王子マテリアへ移管いたします。なお、同製造所の既存の水力発電設備を活用した発電事業については検討を進めてまいります。

停止する生産設備

	王子エフテックス 東海工場富士宮製造所	
	B-1号抄紙機	B-2号抄紙機
主要生産品種	白板紙	白板紙・その他板紙
生産能力	41千トン/年	29千トン/年
停止時期(予定)	2014年9月	

3. 感熱紙の生産集約

感熱紙の収益力強化を目的として、王子製紙日南工場で生産している感熱紙の生産を王子イメージングメディア神崎工場およびOji Paper (Thailand)に移管し、日南工場の3号コーター、4号コーターを停止いたします。

停止する生産設備

	王子製紙 日南工場	
	3号コーター	4号コーター
主要生産品種	感熱紙	感熱紙
生産能力	154百万㎡/年	425百万㎡/年
停止時期(予定)	2014年10月	

これらの施策に伴う固定的費用を中心としたコスト削減額は約50億円/年となります。

設備停止に伴い、当期において事業構造改善費用を特別損失として計上する予定ですが、2014年3月期(2013年4月1日～2014年3月31日)の業績予想に変更はありません。

なお、実施にあたりましては、お客様をはじめ、関係各所にご迷惑をおかけすることがないように、万全を期してまいります。

以上